

かんぐん こ にししゅう う えもん はか
官軍小西周右衛門の墓

- ◇ 指定日 昭和54年7月24日
- ◇ 所在地 沢田
- ◇ 所有者 常安寺

この墓所は、沢田の常安寺にある戊辰戦争に関連する史跡ですが、宮古港海戦の戦死者を埋葬した墓ではありません。

これは明治元年(1868年)11月29日に病没した備前岡山藩士の小西周右衛門光信(42歳)を葬った墓所で、墓碑の正面には「誠心義慮士」という戒名が彫られています。

小西は、蝦夷地に拠る旧幕府脱走軍の追討のため津軽に向かった岡山藩兵の1人ですが、重い病気が原因で宿所となった常安寺に残されました。

その後、重体となり宮古代官所も対応に追われますが、まもなく同寺で死去したので、岡山藩役人と相談の上、そのまま同寺に埋葬されることになりました。

